

## ○ 対策集例（個人用）

### A. あなたのお宅における放火火災の防止に向けた対策集例

中項目	対応策の具体例
1. 環境要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自治会が行うパトロールに参加する。</li> <li>◆地域における一声運動に心掛ける。</li> <li>◆街路灯の設置や玉切れの交換を自治会等に要望する。</li> <li>◆不審な通行人に気が付いたら動向に注意する。</li> </ul>
2. 敷地・建物への侵入防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆門扉・車庫・物置等、夜間における施錠管理を心がける。</li> <li>◆容易に開錠されないための防犯ブザーを設置する。</li> <li>◆建物や敷地に死角をつくる要因となる物の整理整頓を行う。</li> <li>◆死角となる箇所に侵入監視センサー等を導入する。</li> <li>◆これらの機器が作動した場合の初動対応について把握しておく。</li> <li>◆地域連携の警戒パトロールに参加する。</li> <li>◆玄関先を明るくするための照明器具の導入を進める。</li> <li>◆長期間留守にする場合には、新聞配達を止めるようにする。</li> <li>◆長期間留守にする場合には、近隣住民への声かけを行う。</li> <li>◆チェーンロックを使用する。</li> <li>◆インターホンシステムを導入する。</li> <li>◆建物外壁の不燃化と補修を行う。</li> </ul>
3. 可燃物等の整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆可燃物は部外者の目に届かない場所に整理整頓する</li> <li>◆ごみの回収日を把握しておく。</li> <li>◆ごみ回収のルールを徹底する。</li> <li>◆自転車等のカゴに物を放置しないようにする。</li> <li>◆車両等のボディカバーは防災製品を使用する。</li> <li>◆新聞やチラシはこまめに取り込む。</li> <li>◆郵便受けから新聞やチラシがはみ出さないよう、業者に依頼する。</li> </ul>
4. 火災の初期対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆消火器や簡易消火具を設置する。</li> <li>◆消火器の使用方法は家族みんなが把握しておく。</li> <li>◆住宅用火災警報器を導入する。</li> <li>◆これらの機器が作動した場合の初動対応について、把握しておく。</li> <li>◆消防署・自治会・町会等が行う消火活動訓練に参加する。</li> </ul>
5. 家族や近隣との協力体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆近隣者との親睦を深め、お互いの放火火災防止の工夫など話し合っておく。</li> <li>◆長期不在や外出時には、「お隣さんへ一声かけて」運動をお互いに習慣づける。</li> <li>◆町会・自治会を母体とした自主防災組織への参加意識を高める。</li> <li>◆日頃から家族で放火火災防止対策の心構えを話し合っておく。</li> <li>◆地域で開催される防火講習会や消防訓練等に参加し、放火火災予防への関心を高める。</li> <li>◆広報資料やパンフレットの内容を理解し、防火意識の向上を心掛ける。</li> </ul>